

地域おこし協力隊 いいたてDIARY



「飯舘村を物づくりで発信したい」そんな想いを掲げて走り抜けた令和2年度も終了。ようこそ令和3年度。今年度も、飯舘のウサインボルトと呼ばれるよう爆走したいと思っています!!!!!!どうぞ宜しくお願いします。

さて、今年度の爆走第1段として5月2日に旧草野幼稚園園庭で物づくりのイベント「山の向こうからvol.3」を開催。3回目の開催となる今回は、遠くは秋田、茨城県から出展して下さいます。コロナが落ち着かず、是非来て下さいとは言えない世の中ですが、安心して楽しんで頂けるよう感染対策を十分に行い開催いたします。会場での消毒、検温、感染経路特定用紙の記入にご協力を頂き、目視で安全が確認できるように来場者様全員にリストバンドを付けて頂きます。

イベントの詳細、出展者紹介はインスタグラムに掲載中です→@yamanomukoukara

4月20日現在の情報です。開催後に広報紙が届いた方は申し訳ありません。次回開催をお楽しみに!

今月のライター
飯舘村地域おこし協力隊 二瓶 麻美さん
イベントに向けて、飯舘復興の桜、飯舘で採れた玉ねぎやナツハゼなどの飯舘に因んだ物で草木染めをしています。私が感じた「飯舘村の今」をイベント会場で表現したいと思っています。



佐野志帆さんの ラオス通信。 vol.9 ラオスの仏教文化 ① 托鉢・出家

東京オリンピック・パラリンピック2020で村が「復興『ありがとう』ホストタウン」を務めるラオスってどんな国?佐野さんのレポートで素朴な疑問に応えます。きっとラオスが身近になりますよ!

佐野さんは兵庫県の出身。青年海外協力隊として現地で活動した経験をもとに、佐野さんが見て触れて感じたラオスを教えていただきます。



朝5時の托鉢の様子



お坊さんへ渡す桶の中身

ラオスに住んでいると、仏教の文化を身近に感じます。それは、ラオスが仏教国であり、国民のほとんどが仏教徒であるためです。日常的な仏教のついでに「托鉢」があります。これは、早朝裸足で歩いてくるお坊さんにお金やお菓子、ご飯、水などを施す習慣のことです。この文化の根底には、人になにかをやってあげたり、物をあげると徳が得られるという「喜捨」という仏教の考え方があります。

ちなみに、ラオス人の男性は人生で1回は出家をします。これは、出家をしないと二人前とは認められないためです。出家をするタイミングは決まっていますが、3〜7日でフランクに出家する人も多く、ラオス人が出家する理由は概ね以下の通りです。① 悟るため② 親族(特に両親)が亡くなったとき③ 人生に行き詰まったとき④ 勉強するため。4つ目の「勉強するため」に出家する」というのは、お坊さんになると生活費・学費が無償で教育を受けられるためです。義務教育のうちはお寺の中にお坊さんのための学校があります。通常の学校の教科+仏教に関して勉強することができます。また、高校と大学の学費も無料で受けることができます。このように、仏教文化である出家が教育を保証しているという側面もあるのです。

次回は
ラオスの仏教文化②
を紹介します!

〈ふるさと資源〉発掘図鑑

掲載についてお問い合わせは村づくり推進課企画係
☎0244-42-1613までお気軽に。

お気に入りの景色、ふるさとを感じるモノ、自分が打ち込んでいるコトなど、あなたの「推し」を広報紙に掲載してみませんか。



多田直正さん(宮内)



庭作りは全くの趣味。じっとしてられない性格なんです。水仙の株はコツコツ増やしてきました。来年、さ来年と見応えが増すんじゃないかな〜。

しだれ桜、モモ、レンギョウ、ユキヤナギ、ボケ、そして隅々まで植えられた無数の水仙…色とりどりの花が咲き乱れる光景は圧巻。村の方から「小さな花見山がある」と情報をいただきお邪魔しました。

※として行者ニンニクもあります!

4月16日、福島大学食農学類3年生と先生方合わせて17人が授業の一環で役場を訪れ、ふるさと住民票を受け取りました。杉岡村長と久々の再会だった学生もあり、会話を弾ませていました。



ふるさと住民票を手にする福大食農学類3年生と杉岡村長

飯舘村の特産品を作ってみたり、村に多くの方が訪れるよう、少しでも力になりたい。農家の方たちと一緒に今後活動していきたいです。

高田優花さん(福島大学3年生)



| ひとのうごき | | 3月1日~31日までの | |
|---------------|------------|-------------|-----|
| (令和3年3月31日現在) | | ◆◆人口動態◆◆ | |
| 人口 | 今月(前月比) | 転入 | 2人 |
| 男 | 2582人(-19) | 転出 | 31人 |
| 女 | 2586人(-19) | 出生 | 0人 |
| 計 | 5168人(-38) | 死亡 | 9人 |
| 世帯数 | 1830戸(-2) | (住民基本台帳人口) | |

(3月21日から4月15日までに届け出のあったものを掲載)
※この欄に掲載を希望しない方は、届け出のときに住民係へ申し出てください。

前号で、男女合計数について1832人とありましたが、正しくは5206人でした。お詫びして訂正いたします。

| おくやみ | | | |
|--------|----|--------|--|
| 氏名 | 年齢 | 行政区 | |
| 菅野 一郎 | 77 | 宮内 | |
| 鈴木 忠 | 79 | 小宮 | |
| 清水 正三 | 78 | 蕨平 | |
| 熊谷 テル子 | 94 | 飯樋町 | |
| 目黒 淳子 | 79 | 上飯樋 | |
| 佐藤 千ヨノ | 96 | 宮内 | |
| 菅野 貢明 | 71 | 前田・八和木 | |

ご冥福をお祈り申し上げます

<人事異動のお知らせ>
4月12日付 福島市保健所出向 斎藤愛子(健康福祉課健康係)

三寒四温。これまでになく駆け足で訪れた春。根雪をとかす大地の温かさに感謝しつつ、心地よそそ風と木々の新緑に、これからのふるさとを重ねあわせます。(杉岡村長)